

第8回 道内学生の製品化・事業化アイデア実現支援事業 募集要項

募集期間

令和7年6月2日（月）～9月26日（金）

< 主催 >

札幌商工会議所
北海道経済連合会
公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター
一般社団法人 北海道ニュービジネス協議会

＜事業概要＞

1. 主催

札幌商工会議所、北海道経済連合会、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター、一般社団法人北海道ニュービジネス協議会

2. 協力

国立研究開発法人産業技術総合研究所北海道センター、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、STARTUP HOKKAIDO 実行委員会（札幌市、北海道、経済産業省北海道経済産業局）、株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行、北海道信用金庫、株式会社日本政策金融公庫

3. 事業の目的

地元経済団体の会員企業・金融機関等（以下、「企業等」という）が、道内学生考案のビジネスアイデアの実現を支援することで、「理工系学生の本道定着」「ものづくり産業の振興」「起業家の育成」「北海道経済の活性化」に寄与することを目的として実施します。

4. 事業の概要

道内の学生グループが考案した、「ものづくり分野」やIT・IoT・AI等の「情報分野」における製品化・起業アイデアを企業等が実現に向けて支援する事業です。

学生グループは、企業等に向けて、自ら考案したアイデアのプレゼンテーションを行います。

企業等は、実現性や需要が高いと見込まれるアイデアを発表した学生グループと個別面談を行い、アイデア実現に向けた支援を検討します（下記のような支援が受けられる可能性があります）。

●企業支援の例：

- ①共同研究・共同開発
- ②ビジネスプランの購入
- ③資金提供
- ④工場・機器の使用許可、材料提供

●金融機関支援の例：

- ①学生プランを実現する企業への支援
 - ・各種融資制度、基金（中小企業の新技術・製品研究開発への助成）、販路開拓支援
- ②学生グループに対する創業支援
 - ・創業融資
 - ・創業、新事業等成長企業を支援するファンドなど
 - ・創業計画策定支援、資金調達に関する相談対応、販路開拓支援
- ③経営人材派遣等の人材支援に関するサポート

●商工会議所の支援例：

創業に関する各種支援策によるサポート（セミナー・専門家による無料アドバイス等）

<応募要領（全コース共通）>

1. 応募期間

製品化支援・起業支援コース：令和7年6月2日（月）～令和7年9月26日（金）

2. 応募資格

対象分野に関連する学科を有する北海道内の大学・高等専門学校に在籍する学生グループ
※必ず2名以上で構成してください。※他グループとの重複応募にならないように留意して下さい。

3. 対象分野

「ものづくり分野」やIT・IoT・AI等「情報分野」の学生発案の製品化又は起業アイデア

（例）「製品開発」、「技術開発」、「素材開発」、「システム開発」、「アプリ開発」などで、
SDGs、DXなどの観点から社会的需要の高いアイデア

※「一般食品」は対象外とします

※過去の発表内容（一部）は「別添1」をご覧ください

4. 応募コース

- ①製品化支援コース
- ②起業支援コース

先着順に書類審査を行います（詳細は「項目6」をご覧ください）

5. 応募方法・締切

応募数：最大10グループ

応募方法：エントリーシートを申込フォームからアップロードまたは、メール添付によりご提出ください。

提出先：事務局 札幌商工会議所 産業部 地域振興・ものづくり課

E-mail：tiiki@sapporo-cci.or.jp TEL：011-231-1373

応募様式：『エントリーシート（製品化支援コース・起業支援コース用）』をお使いください。

なお、エントリーにあたり、事前に別紙『参加規約』に同意願います。

『エントリーシート』『参加規約』は下記URLから取得してください。

URL：<https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/02/details>

応募締切：令和7年9月26日（金）まで



6. 書類審査

ご提案いただいたアイデアは、先着順に専門家及び主催者側で書類審査を行います。

※審査基準～革新性、市場性、地域性、独創性、実現性

結果通知は、1か月を目途にエントリーシートに記載されたEメール宛に通知します。

※なお、エントリー後のテーマの変更はお受けできません。

7. 準備金（経費補助）

参加学生に経費（作業費・交通費等）5万円／1グループをプレゼン発表後に支給致します。

8. 表彰制度

優秀なアイデアには札幌商工会議所から表彰します。

＜プレゼンテーション要領＞

1.公開プレゼンテーション概要

日 時：令和7年11月26日（水）13：30～（予定）

場 所：札幌市内

内 容：①エントリーいただいた内容のプレゼンテーションを行っていただきます。

※参加者が遠方の場合、オンライン発表も可能です。

②別紙の参加規約に同意した企業等に関しプレゼンテーション聴講に参加します。

③各グループのプレゼンテーション終了毎に企業等との質疑応答を予定しておりますので、発表者は必ず参加をお願いします。

2.プレゼンテーション資料の作成及び提出方法

制限時間：自己紹介を含め12分以内（自己紹介含め発表10分、質疑応答2分）

ファイル形式：powerpoint

内 容：下記内容にて、企業等に向けたプレゼンテーションとしてください。

① 発表者・発表グループの自己紹介（1分程度）

② 発表者による資料（powerpoint）を使用した説明

提出方法：メール（tiiki@sapporo-cci.or.jp宛）で提出

※大容量の場合、オンラインストレージやCD-Rを活用して事務局へご提出ください。

提出期限：**令和7年11月14日（金）まで**

注意事項：以下の点にご留意願います。

①特許取得にかかわるアイデアを発表する場合は、発表前に特許出願を行うなど事前のご対応をお願いします。

②聴講する企業等は予め参加申込をした方に限定しますが、不特定多数が聴講することを踏まえ、開示する内容は応募者にてご判断願います。

3.プレゼンテーションの実施から面談までの流れ

①企業等からの面談の申込

プレゼンテーションに参加した企業等は、実現性や需要が高いと見込まれるアイデアを発表した学生グループに面談の申し入れを行います。 ※申し出が無い場合もございます

②面談実施の調整

学生グループは、支援を申し出た企業との面談可否を判断。面談する場合、双方の面談日程調整を事務局が行います。対面か否かの判断は双方の希望に沿った形で行いますが、遠方在住の場合は、オンライン面談を推奨します。原則、学生グループ・企業のみで面談を行います、双方から申し出があった場合は事務局も参加します。

※後日、事務局より面談の状況・結果についてヒアリングを行う予定ですのでご協力下さい。

＜実施スケジュール＞

時 期	内 容【対象】
6/2～9/26	① 学生グループのエントリー受付 募集期間内にエントリーシートを事務局へメール
エントリー受付後	② 書類審査の結果通知 エントリーシートに記載された連絡先に E メールで通知します ③ 専門家によるエントリーシートへのアドバイス （ご提出後に随時実施） 専門家からのアドバイスを学生グループにフィードバック
10/1～ 11/13	④ 企業等の参加受付 学生グループのエントリー締切後、応募されたアイデアを公開し 企業等へプレゼンテーション聴講参加を呼び掛け
11/14	⑤ プレゼンテーション資料提出 プレゼンテーションで使用する資料（powerpoint）を事務局へ提出 提出後の修正はプレゼンテーション実施日の前日まで可能
11/26	⑥ プレゼンテーション実施 プレゼンテーション（自己紹介含め10分） 企業等からの質問受付、学生グループによる回答（2分程度）
プレゼン終了後～ 1 月	⑦ 面談申込受付・面談実施 企業等からの面談申込の都度、学生グループとの日程調整を行います ⑧ 参加者からの意見・アドバイスをフィードバック プレゼンテーションに参加した企業等からいただいたご意見を 学生グループにフィードバック
2 月	⑨ 事務局による経過状況の確認 面談後の状況について企業・学生グループにヒアリングいたします

〈別添 1〉

◆過去の発表内容◆

①製品化支援コース

- ドローンを用いた農作物保管フレコン吊りベルトアジャストシステム
- 無人走行実験実証試験のための自動運転支援システム
- エネルギー回復に有効な運動後に食べるスポーツアイスの商品化
- スマート農業に向けた携帯端末による食品判別
- 冬期の転倒予防を目指したスマートシューズの開発
- 電動アシストキャリーケース
- テトラーク式引上炉を活用したスクラップ合金中からの不純物金属の除去技術への試み
- トポロジー最適化を用いた高断熱性サッシ構造の提案
- 可動広告付き地下鉄つかまり棒洗浄ロボット
- 目で見てわかる変化：農畜産物の生産流通における積算温度インジケータの活用
- マスク着用時の顔に対する可視化によりコミュニケーションを促進するシステムの開発
- 組換え大腸菌によるマイクロプラスチック回収技術
- グリーンプレミア農業に向けた電気化学的 CO₂ 回収装置の開発
- 超指向性音によるエゾシカと車両の衝突回避のための車載スピーカーシステム開発
- 持続可能なファッション業界の実現に向けたファッションプラットフォームの構築
- AI を用いた定点カメラからの異常検知による独居高齢者見守りシステム
- VR の温覚再現による危険教育
- 動物用トラップを応用した設置式クマよけ
- ドローン取得情報を用いた除雪効率の向上
- 高齢化社会と情報化社会に対応した認知症予防遊戯アプリの開発
- GreenLaser 有機農業の未来を切り拓くソリューション
- 縫製工場の生産性向上に向けた生地判定アプリの開発

②起業支援コース

- 医療診断装置応用を目指した TlBr 半導体γ線センサーの製造・販売
- エコンプ（マイクロプラスチック吸着及び有用物質の生成分離技術の確立と事業化）
- Beeber Global 地域課題解決と多文化共生のためのグローバルスキルシェアコミュニティ
- 革新的月輸送システムの開発
- フローと触媒によるグリーンな高分子合成法の開発
- 道東におけるホタテ貝廃材を活用した高純度人工方解石の生産と産業利用
- 熱電変換素子を用いた融雪道路の運転費用低コスト化

など